2022年度 星槎道都大学 授業計画(シラバス)



目 次

6211201	キャリア支援演習 (M)(資格取得・コンクール等支援) 河野 善文 通年	•	•	•	1
6211202	キャリア支援演習 (S) (資格取得・コンクール等支援) 西崎 毅 通年			•	
6211202		_	_	_	_
	キャリア支援演習 (D)(資格取得・コンケール等支援) 林 春生 通年	٠	•	•	-
6211204	キャリア支援演習 (A) (資格取得・コンケール等支援) 伊藤 裕康 通年	•	•	•	- 1
	キャリア支援演習 (M) (就活等支援) 石山 玄幸 通年	•	•	•	ξ
6212202	キャリア支援演習 (Ś) (就活等支援) 尾西 則昭 通年	•	•	•	11
6212203	キャリア支援演習 (D) (就活等支援) 三上 いずみ 通年	•	•	•	13
6212204	わりで支援演習 (A) (就活等支援) 長森 正 通年			•	15
	キャリア支援演習 (M)(その他支援) 河野 善文 通年				17
0213101	TYが又は原目(M)(COMEX版) 内封 古文 原生	-			
6213102	ヤリア支援演習 (Ś)(その他支援) 西崎、毅 通年	•	•	•	19
	キャリア支援演習 (Ď) (その他支援) 林 春生 通年	•	•	•	21
6213104	キャリア支援演習 (A)(その他支援) 伊藤 裕康 通年	•	•	•	23
7166000	精神保健福祉援助実習指導 大島 康雄 通年	•	•	•	25
7168000	精神保健福祉援助実習指導 大島 康雄 通年	•		•	27
71/8001	特別支援教育実習(事前指導)(3年) 荒木 広式 通年				29
7140001	特別支援教育実習(事前指導)(4年) 荒木 広式 通年		_	_	
7146002	特別支援教育実習(事前指導)(4年) 荒木 広式 通年	•	•	•	31
9140001	学校インターンシップ(学校体験活動)(3年) 堀川 厚志 通年	•	•	•	33
9140002	学校インターンシップ(学校体験活動)(4年) 堀川 厚志 通年	•	•	•	35
7141000	保育実習指導 吉江 幸子 通年	•	•	•	37
7181000	保育実習指導 一音江 幸子 通年	•	•	•	39
7183000	保育実習指導 湯浅 頼佳 通年				41
0120001		_	_	_	
9130001	教育実習(事前・事後指導)3年 渡部 斎 通年	•	•	•	43
9130002	教育実習(事前・事後指導)4年 渡部 斎 通年	•	•	•	45

科目分類区分			対象学科・配当			
開講時期	通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習	(M)	(科目ナンバリン	ング: S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)				研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する 経験と授業	場合の実務 関連内容				
オフィスアワー		•				

単位数 実務経験のある 数員の授業科目	1 (単位認定責				
実務経験のある		任者:)	CAP制	
スタツス未作はし	左記に該議経験と	当する場合の実務 :授業関連内容			
オフィスアワー					
後 握修目標					
S.E. [140]					
受業の位置づけ					
(未切以且 기)					
]達目標					
			<u> </u>		
5 N/ A / I = I = I Int					
受業全体の内容と概要	妥				
受業の方法					
?業の方法					
業の方法					
受業の方法					
3業の方法					
紫の方法					
	ブの実施方法				
		グルーブワーク		フィールドワーク	PBL
⁷ クティブラーニング	ション	グルーブワーク ロールブレイ		フィールドワーク 調査学習	PBL 反転授業
アクティブラーニン グ ブレゼンテーシ	ション	ロールプレイ			反転授業
模擬授業 ディスカッシ	ション			調査学習	
アクティブラーニング ブレゼンテーシ 模擬授業	ション	ロールプレイ		調査学習	反転授業
アクティブラーニング ブレゼンテーシ 模擬授業 ディスカッシ	ション	ロールプレイ		調査学習	反転授業
プクティブラーニング ブレゼンテーシ 模擬授業 ディスカッシ	ション	ロールプレイ		調査学習	反転授業
アクティブラーニング ブレゼンテーシ 模擬授業 ディスカッシ	ション	ロールプレイ		調査学習	反転授業

修学サポート(合理的配慮)	
資格指定科目	

評価前提条件									
 評価方法									
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他				

ループリック										
			評価基準							
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない					

- 1 -

E-T-IBTK							
科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリアヌ	支援演習	(M)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業限	場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	敗科書									
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1										
2										
3										
4										
5										

授業計画

授業計画									
		内容及び授業外学修として準備学習・							
Ц	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習 (所要時間)						
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
10 11 12 13 14 15									

参	参考文献・資料等									
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1										
2										
3										
4										
5										

授業計画			
│		内容及び授業外学修として準備学習・	
47	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

- 2 -

科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S)		(科目ナンバリング: SOE082055)	
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者	:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当す 経験と授業	る場合の実務 関連内容				
オフィスアワー							

) は、現石ノ					
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容			
オフィスアワー					
戏 要					
厦修目標					
受業の位置づけ					
到達目標					
受業全体の内容と	概要				
受業の方法					
アクティブラーニ	ングの宝旅				
	テーション	グループワーク		フィールドワーク	PBL
模擬		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ッション	実験・実習・実技		双方向授業	(授業の方法参照)
覆修上の注意事項					

修学サポート(合理的配慮)		
資格指定科目		
評価方法・基準		
評価前提条件		

評価前提条件									
評価方法									
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他				

ループリック									
		•	評価基準						
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない				

- 3 -

科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支	援演習	(8)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者	:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業	る場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書									
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1										
2										
3										
4										
5										

授業計画

授業計	授業計画								
回		内容及び授業外学修として準備学習・							
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)						
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

参	参考文献・資料等									
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1										
2										
3										
4										
5										

授業計	画		
回		内容及び授業外学修として準備学習・	
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

- 4 -

科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア	支援演習	(D)	(科目ナンバリン	ング: S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業[場合の実務 関連内容				
オフィスアワー		•		•	•	•	

単位数 実務経験のある 教員の授業科目 オフィスアワー	4 , 5, 1, 1			別ル主守が江		
	1 (単位	認定責任者:)	CAP制		
	左記	に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				
			l			
【安 夏修目標						
夏沙口1家						
受業の位置づけ						
文米の位置プロ						
到達目標						
<u>到连日悰</u>						
京米人はの古中し	u are					
授業全体の内容と概	发					
- 111/2 - 1 1 1						
授業の方法						
		<u> </u>				
アクティブラーニン						
アクティブラーニン		グループワーク		フィールドワーク		PBL
プレゼンテ- 模擬授	ラション	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ブレゼンテ- 模擬授 ディスカッ	ラション				E	
プレゼンテ- 模擬授	ラション	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ブレゼンテ- 模擬授 ディスカッ	ラション	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ブレゼンテ- 模擬授 ディスカッ	ラション	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ブレゼンテ- 模擬授 ディスカッ	ラション	ロールプレイ		調査学習		反転授業

§学サポート (合理的配慮)	
資格指定科目	
2価方法・基準	

評価前提条件					
T/T->->1					
评価方法					
平価方法 ^{定期試験}	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
		•	評価基準		
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

5

科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリアヌ	支援演習	(D)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業限	場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書								
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計画

授業計画									
		内容及び授業外学修として準備学習・							
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)						
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計	受業計画								
回		内容及び授業外学修として準備学習・							
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)						
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

- 6 -

科目分類区分			対象学科・配当			
開講時期	通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 ((A)	(科目ナンバリン	ノグ:S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)				研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合 経験と授業関連	合の実務 内容				
オフィスアワー						

/120 14W LD /					
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容			
オフィスアワー					
 既要					
覆修目標					
授業の位置づけ					
到達目標					
授業全体の内容と	・概要				
IXXXIII C	170,50				
授業の方法					
1支未の月14					
アクティブラーニ					
	テーション	グループワーク		フィールドワーク	P B L
	建授業	ロールプレイ		調査学習	反転授業
	コッション	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)
覆修上の注意事項	Į				

修学サポート(合理的配慮)	
資格指定科目	
	_

F価前提条件					
/#->-\-					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	点常平	その他

I	ルーブリック					
- [評価基準		
	評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
١						

7

科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリアヌ	支援演習	(A)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082055)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業限	場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書							
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計画

授業計画								
回		内容及び授業外学修として準備学習・						
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計	授業計画							
回		内容及び授業外学修として準備学習・						
	学習内容 学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)					
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

- 8 -

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当		全学科・3年			
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択		
科目名称	キャリア支援演習 (M)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082056)		
授業担当者(所 属・職名)	学科キャリア支援	委員	研究室等所在	各研究室			
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャ	リア支援委員)	CAP制	0			
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容						
オフィスアワー		研究室前の掲示ボード等を参照					

概要

_		_	
72	加又	н	***

学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方,筆記試験対策など,就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

経営学科のDP(1)、(2)に対応する。

到達目標

自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき,履歴書・エントリーシート,面接試験,筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要

就職活動を始めるにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか,就職活動の流れを理解するとともに,計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究,企業 研究、面接試験対策,筆記試験対策,履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。

授業の方法

授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーボイントおよび配付資料を活用し,講義だけでなく演習やグループワークも行う。また,パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レボートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業	0	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示板にて授業案内を随時確認すること。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目

並価方法, 其淮

0 %

7 0 %

į	前圆刀 <u>次。秦</u> 华								
	評価前提条件								
ſ	13回以上授業に出席すると共に,講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。								
١									
١									
١									
١									
ļ									
Į	評価方法								
ı	空期對於	1. 11 2 _ L	■時、ルロ	中間テフト	立一	スの供			

0 %

20%

1 0 %

0 %

ルーブリック									
<i>N</i> -2999		評価基準							
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない				
講師の話を傾聴しレポート を作成する。	レポートの内容から、講義 の内容を完璧に理解でき、 更に意見も述べることがで きた。	レポートの内容から、講義 の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義 の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義 の内容を辛うじて理解でき た。	レポートの内容から、講義 の内容を理解できなかった。				
自己分析を通しての自己成 長。	自分の特徴や長所・短所を 関係を示しながら、端 に説明できただけでなく、 客観的な視点を持って分析 することができた。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら、端的 に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら説明す ることができた。	自分の特徴や長所・短所を おおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を 説明できなかった。				
就職先を考える	希望する就職先を具体的に 4 社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に 3 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 2 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 1 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 列挙できなかった。				

- 9 -

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082056)
授業担当者(所 属・職名)	学科キャリア支援	委員	研究室等所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャ	・リア支援委員)	CAP制	0	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書								
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計画									
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間						
凹	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)						
1	授業改善アンケート結果反映の説明 講義の概要~キャリア支援センターの活用法~、シ ラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
2	スタートアップ就職ガイダンス ~ 就職活動の流れ や目標設定~	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
3	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
4	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
5	就職活動のスケジュール作成	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
6	ビジネスマナー講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
7	企業講演	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディス カッション)	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
9	筆記試験対策~SPI試験対策~	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
11	履歴書・エントリーシート書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
12	面接対策講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
13	就職活動の身だしなみ講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
14	就職内定報告会	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
15	合同・単独企業説明会活用講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)						
16	まとめ・フィードバック 授業改善アンケートの実施	履歴書添削のための準備をする	添削結果を受けて履歴書作成する						

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計	画		
		内容及び授業外学修として準備学習・	
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

科目分類区分	ţ	共通教育科目		対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支 語	援演習	(\$)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082056)
授業担当者(所 属・職名)		学科キャリア支援			研究室等所在	1 号館	2階
単位数	1	(単位認定責任者		西則昭)	CAP制	0	
実務経験のある 教員の授業科目	事務経験あり	左記に該当する 経験と授業	る場合の実務 関連内容	企業経営者や若手社員が 業内容、求める人材、仕	が、オムニバス形式により 事の働きがいなどについ	〕経験を活かして、業界 ハて講義する。	の特徴や具体的な事
オフィスアワー		_		研究室前の掲示ボー	- ド等を参照		

概要

学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、自己PRや履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要

就職活動を始めるにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。 『508 8. 働きがいも経済成長も」の関連授業

授業の方法

授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配布資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークワークも行う。質 問に関しては、その場で解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法

		,,,,,				
0	プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
0	ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示板にて授業案内またはパインドノートで随時確認すること。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員 (大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目

評価方法・基準										
評価前提条件										
13回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真撃に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。										
評価方法										
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他					
0 %	7 0 %	0 %	0 %	2 0 %	1 0 %					

ルーブリック	ループリック								
	評価基準								
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない				
レボート	講義の内100%理解した レポートができた。	講義の内容90%理解した レポートができた。	講義の内容80%理解した レポートができた。	講義の内容70%理解した レポートができた。	講義の内容を理解したレポートができなかった。				
平常点	授業を理解しようとする積極的な態度を100%できた。	授業を理解しようとする積 種的な態度を90%できた。。	授業を理解しようとする積 種的な態度を80%できた。。	授業を理解しようとする積 種的な態度を70%できた。	授業を理解しようとする積 種的な態度ができなかった。。				
講師の話を傾聴しレポート を作成する。	レポートの内容から、講義の内容を全態に理解している。更に意見ものべることができる。	の内容を完壁に理解できた	レポートの内容から、講義 の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義 の内容を辛うじて理解でき た。	レポートの内容から、議義 の内容を理解できていなかった。				

	-						
科目分類区分	ţ	共通教育科目		対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支	援演習	(\$)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082056)
授業担当者(所 属・職名)		学科キャリ	ノア支援:	委員	研究室等所在	1 号館	2階
単位数	1	(単位認定責任者	, , ,	西則昭)	CAP制	0	
実務経験のある教員の授業科目	事務経験あり	左記に該当する 経験と授業	る場合の実務 関連内容	企業経営者や若手社員か 業内容、求める人材、付	、オムニバス形式により 事の働きがいなどについ)経験を活かして、業界 いて講義する。	の特徴や具体的な事

教科書・参考文献・資料等

教和	斗書					
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計	授業計画						
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間				
비	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)				
1	講義の概要~キヤリアセンターの活用法~シラバス の説明 <u>「授業改善アンケート結果反映の説明」</u>	シラパス熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
2	スターアップ就職ガイダンス ~ 就職活動の流れや目 標設定	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
3	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
4	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
5	就職活動のスケージュール作成	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
6	ビジネスマナー講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
7	企業講演	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディス カッション)	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
9	筆記試験対策~SPI試験対策	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
11	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
12	面接対策講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
13	就職活動の身だしなみ講座	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
14	就職内定報告会	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
15	合同・単独企業説明会活用講座 「授業改善アンケート実施」	次回の授業内容を予習する。(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
16	まとめ フィードバック	履歴書添削のための準備をする。(45分)	履歴書結果を受けて履歴書作成する。(45分)				

参	参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1	『『適時、資料配布』』						
2							
3							
4							
5							

授業計	受業計画					
回		内容及び授業外学修として準備学習・				
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)			
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (D)	(科目ナンバリン	ング: S0E082056)
授業担当者(所 属・職名)	学科キャリア支援	委員	研究室等所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャ	リア支援委員)	CAP制	0	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				
オフィスアワー		研究室前の掲示ボー	- ド等を参照		•

概要

学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方,筆記試験対策など,就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

デザイン学科のDP(1) (2) (3) (4) (5)に対応する。

到達目標

自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき,履歴書・エントリーシート,面接試験,筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要

就職活動を始めるにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか,就職活動の流れを理解するとともに,計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究,企業 研究、面接試験対策,筆記試験対策,履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。

授業の方法

授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーボイントおよび配付資料を活用し,講義だけでなく演習やグループワークも行う。また,パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レボートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業	0	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示板にて授業案内を随時確認すること。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目

評	評価方法・基準					
部	評価前提条件					
	13回以上授業に出席する	ると共に,講師の講話を真摯	に傾聴する姿勢を持つこと	が単位認定の必須事項。		
į	評価方法					
н		レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
н	742702 N-1-07	V 10.	WALL IT HE	1137711	1 10/11	4.9.15
	0 %	7 0 %	0 %	0 %	2 0 %	1 0 %
部	評価方法 定期試験 0%	レポート 7 0 %	課題・作品	中間テスト 0 %	平常点 20%	その他 10%

ルーブリック	レープリック					
	評価基準					
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	
講師の話を傾聴しレポート を作成する。	レポートの内容から、講義 の内容を完璧に理解でき、 更に意見も述べることがで きた。	の内容を完璧に理解できた	レポートの内容から、講義 の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義 の内容を辛うじて理解でき た。	レポートの内容から、講義 の内容を理解できなかった。	
自己分析を通しての自己成 長。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら、端的 に説明できたけでなく、 客観的な視点を持って分析 することができた。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら、端的 に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら説明す ることができた。	自分の特徴や長所・短所を おおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を 説明できなかった。	
就職先を考える	希望する就職先を具体的に 4 社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に 3 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 2 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 1 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 列挙できなかった。	

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (D)	(科目ナンバリン	ノグ: S0E082056)
授業担当者(所 属・職名)	学科キャリア支援	委員	研究室等所在	各研究	潌
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャ	・リア支援委員)	CAP制	0	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	数科書						
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1							
2							
3							
4							
5							

授業計画						
	各授業回における学習[内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間			
凹	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)			
1	授業改善アンケート結果反映の説明 講義の概要~キャリア支援センターの活用法~、シ ラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
2	スタートアップ就職ガイダンス ~ 就職活動の流れ や目標設定~	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
3	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
4	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
5	就職活動のスケジュール作成	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
6	ビジネスマナー講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
7	企業講演	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディス カッション)	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
9	筆記試験対策~SPI試験対策~	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
11	履歴書・エントリーシート書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
12	面接対策講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
13	就職活動の身だしなみ講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
14	就職内定報告会	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
15	合同・単独企業説明会活用講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)			
16	まとめ・フィードバック 授業改善アンケートの実施	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)			

参	参考文献・資料等							
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計	画						
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間						
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)				
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A)	ア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE)
授業担当者(所 属・職名)	学科キャリア支援	委員	研究室等所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャ	・リア支援委員)	CAP制	0	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				
オフィスアワー		研究室前の掲示ボー	- ド等を参照		

概要

学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方,筆記試験対策など,就職活動に必要な準備を行う。

授業の位置づけ

建築学科のDP(1)、(2)、(3)、(4)、(5)に対応する。

到達目標

自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき,履歴書・エントリーシート,面接試験,筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要

就職活動を始めるにあたり、具体的に何をどう準備すればよいのか,就職活動の流れを理解するとともに,計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究,企業 研究、面接試験対策,筆記試験対策,履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。

授業の方法

授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーボイントおよび配付資料を活用し,講義だけでなく演習やグループワークも行う。また,パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レボートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業	0	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示板にて授業案内を随時確認すること。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目

評価方法・基準								
評価前提条件	評価前提条件							
13回以上授業に出	13回以上授業に出席すると共に,講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。							
評価方法	評価方法							
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他			
0 %	7 0 %	0 %	0 %	2 0 %	1 0 %			

ループリック								
			評価基準					
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない			
講師の話を憤聴しレポート を作成する。		の内容を完璧に理解できた		レポートの内容から、講義 の内容を辛うじて理解できた。	レポートの内容から、講義 の内容を理解できなかった。			
自己分析を通しての自己成 長。	自分の特徴や長所・短所を 良体例を示しながら、端 は に 記 が で さだけでって分析 することができた。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら、端的 に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を 具体例を示しながら説明す ることができた。	自分の特徴や長所・短所を おおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を説明できなかった。			
就職先を考える	希望する就職先を具体的に 4 社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に 3 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 2 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 1 社列挙できた。	希望する就職先を具体的に 列挙できなかった。			

THE HIX					
科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A)	(科目ナンバリン	ング: S0E082056)
授業担当者(所 属・職名)	学科キャリア支援	委員	研究室等所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キ	ャリア支援委員)	CAP制	0	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実系 経験と授業関連内容	R			

教科書・参考文献・資料等

教和	数科書						
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1							
2							
3							
4							
5							

授業計画							
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間				
凹	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)				
1	授業改善アンケート結果反映の説明 講義の概要~キャリア支援センターの活用法~、シ ラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
2	スタートアップ就職ガイダンス ~ 就職活動の流れ や目標設定~	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
3	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
4	インターンシップの目的と活用	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
5	就職活動のスケジュール作成	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
6	ビジネスマナー講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
7	企業講演	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
8	人事担当者による求める人物像とは(パネルディス カッション)	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
9	筆記試験対策~SPI試験対策~	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
10	履歴書・エントリーシートの書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
11	履歴書・エントリーシート書き方講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
12	面接対策講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
13	就職活動の身だしなみ講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
14	就職内定報告会	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
15	合同・単独企業説明会活用講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)				
16	まとめ・フィードバック 授業改善アンケートの実施	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)				

参	参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1							
2							
3							
4							
5							

授業計画								
		内容及び授業外学修として準備学習・						
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)					
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

				i		
科目分類区分			対象学科・配当			
開講時期	通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演	l習 (M)	(科目ナンバリング: SOE082057)
授業担当者(所 属・職名)				研究室等所在		
単位数	1 (単位認定	責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該経験を	当する場合の実務 と授業関連内容				
オフィスアワー						

単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				
オフィスアワー		•				
概要						
履修目標						
授業の位置づけ						
到達目標						
授業全体の内容と	:概要					
授業の方法						
アクティブラーニ					_	
	テーション	グループワーク		フィールドワーク	-	PBL
	疑授業	ロールプレイ		調査学習		反転授業
履修上の注意事項	カッション 百	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
ラスマンエッノエの手に	~					

修学サポート(合理的配慮)
資格指定科目
評価方法・基準
評価前提条件

評価前提条件								
評価方法								
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他			

ルーブリック										
		•	評価基準							
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない					

2-1-16-1K							
科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリアヌ	支援演習	(M)	(科目ナンバリン	ノグ:S0E082057)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業限	場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	数科書								
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計画								
回		内容及び授業外学修として準備学習・						
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

参	参考文献・資料等							
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計	授業計画								
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間								
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)						
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

1 110 1111	_						
科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S)			(科目ナンバリング: SOE082057)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者	:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当す 経験と授業	る場合の実務 関連内容				
オフィスアワー							

/P3 440 L1 /					
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容			
オフィスアワー					
既要					
覆修目標					
受業の位置づけ					
到達目標					
受業全体の内容と	:概要				
授業の方法					
アクティブラーニ	ングの実別	拖方法			
プレゼン	テーション	グループワーク		フィールドワーク	PBL
模技	授業	ロールプレイ		調査学習	反転授業
	コッション	実験・実習・実技		双方向授業	その他 (授業の方法参照)
覆修上の注意事項	Į				

修学サポート(合理的配慮)	
資格指定科目	
資格指定科目 	

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ループリック								
			評価基準					
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない			

金子田林							
科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援	演習	(8)	(科目ナンバリン	ノグ:S0E082057)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1 (単位	立認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	左記	記に該当する 経験と授業	場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	斗書					
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

授業計画	町		
		内容及び授業外学修として準備学習・	
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

参	参考文献・資料等							
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計	画		
		内容及び授業外学修として準備学習・	
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバ			(科目ナンバリン	ング: S0E082057)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業限	場合の実務 関連内容				
オフィスアワー		•	•				

単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容			
オフィスアワー					
概要					
履修目標					
授業の位置づけ					
10米の位置 217					
到達目標					
授業全体の内容と概	要				
授業の方法					
技未の万広					
アクティブラーニン	グの宝裕	施方法			
プレゼンテー		グループワーク		フィールドワーク	PBL
模擬授		ロールプレイ		調査学習	反転授業
ディスカッ	ション	実験・実習・実持	ţ.	双方向授業	その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項					

やサポート(合理的配慮)	
路指定科目	
方法・基準	

評価前提条件								
評価方法								
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他			
1	I							

ルーブリック									
		•	評価基準						
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない				

2-1-16-1K							
科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリアヌ	支援演習	(D)	(科目ナンバリン	ノグ:S0E082057)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業限	場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	数科書									
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1										
2										
3										
4										
5										

授業計画	授業計画							
		内容及び授業外学修として準備学習・						
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

参	参考文献・資料等									
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1										
2										
3										
4										
5										

授業計	画		
回		内容及び授業外学修として準備学習・	
	学習内容 学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

科目分類区分			対象学科・配当			
開講時期	通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習	(A)	(科目ナンバリン	ノグ:S0E082057)
授業担当者(所 属・職名)				研究室等所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する: 経験と授業関	場合の実務 連内容				
オフィスアワー			•	•	•	

単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				
		経験と技業関連内谷				
オフィスアワー						
概要						
履修目標						
授業の位置づけ						
及来の位置プリア						
到達目標						
授業全体の内容と	概要					
授業の方法						
アクティブラーニ						
	テーション	グループワーク		フィールドワーク	PBL	
	建授業	ロールプレイ		調査学習	反転授業	
履修上の注意事項	コッション	実験・実習・実技	支	双方向授業	その他(授業の方法参	照)
腹 を	₹					

学サポート(合理的配慮)
各指定科目

評価前提条件	評価前提条件								
評価方法									
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他				

ルーブリック	レープリック								
			評価基準						
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない				

2-1-16-1K							
科目分類区分				対象学科・配当			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリアヌ	支援演習	(A)	(科目ナンバリン	ノグ:S0E082057)
授業担当者(所 属・職名)					研究室等所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する 経験と授業[場合の実務 関連内容				

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書							
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計	授業計画							
回		内容及び授業外学修として準備学習・						
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習 (所要時間)					
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								

参	参考文献・資料等							
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計	授業計画							
回		内容及び授業外学修として準備学習・						
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・4年			
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択	
科目名称	精神保健	建福祉援助実習	(科目ナンバリン	ノグ:SWS123048)	
授業担当者(所 属・職名)	大島 康西野 克	雄(社会福祉学科 俊(社会福祉学科	研究室等所在	1号館	2階		
単位数	2	(単位認定責任者: 大島	,	CAP制			
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相 神保健福祉援助実習が対	談援助をしていた教員が 果的になるように授業を	が、実習に向けた学習・ を行います。	体験などを通じて精	
オフィスアワー			研究室前の掲示ボー	- ド等を参照			

概要

屋	/位	+西

精神保健福祉士として必要な知識	3・技術についての基礎を理解する。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

精神保健福祉分野における現状や課題を認識する。精神保健福祉援助実習の目的が明確にできる。

授業全体の内容と概要

精神保健福祉援助実習の事前指導を行う。「SDG 4.質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

教科書を使い、板書で内容の整理を行います。実習に向けての事前学習を行い、実習の目的を深めてもらう。また、接遇などを身につけられるように実際の場面を 想定し、ロールプレイを行います。ロールプレイの内容に関しては細かく評価し、個別にフィードバックを行います。質問に関してはその場で対応します。ICT 活用(双方向型授業・自主学習 支援など)、Microsoft Teams/Forms の諸機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法

0	プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク	PBL
	模擬授業	0	ロールプレイ	調査学習	反転授業
0	ディスカッション	0	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

出席を重視します。 やむを得ず運刻や欠席をするときには,原則として事前に連絡をすること。 精神保健福祉士国家試験の受験資格取得のための必須科目です。 知りたい,聞きたい,理解しようという積極的な姿勢が必要であると同時に,精神保健福祉に関 する事柄に対し自ら問題意識を持って履修すること。

修学サポート(合理的配慮)						
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。						
資格指定科目						
精神保健福祉士国家試験受験資格課程						

評価方法・基準								
評価前提条件								
単位認定に必要となる最低	単位認定に必要となる最低出席回数は12回以上							
評価方法	評価方法							
定期試験	定期試験 レポート 課題・作品 中間テスト 平常点 その他							
0 %	0 %	0 %	0 %	0 %	1 0 0 %			
0,0 0,0 100,0								

ルーブリック	ルーブリック								
		評価基準							
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない				
授業に参加し、事前学習を 進めている。	15回以上授業に参加し 事前学習の資料が整理され 積極的に学習ができた。	14回授業に参加し、事前 学習の資料が整理され積極 的に学習ができた。	13回授業に参加し、事前 学習の資料が整理され積極 的に学習ができた。	12回授業に参加し、事前 学習の資料が整理され積極 的に学習ができた。	11回以下しか授業に参加できなかった。				
実習目標、実習計画が明確 になり、実習計画書、自己 PRが作成できる。	自己分析が行え、実習計画、自己Rが整理され、記載できた。	東習計画、自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが記載できた。	実習計画、自己PRを記載できなかった。				
実習として必要な接遇が行え、適切な相談援助技術を 使用できる。	挨拶~アセスメントまで実 習で問題ないレベルできた。	挨拶 - アセスメントまでで きた。	挨拶 - インテークまででき た。	挨拶までできた。	挨拶やソーシャルワークか できなかった。				

- 1 113 11X	-					
科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社会		
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保健	建福祉援助実習	(科目ナンバリン	ノグ: SWS123048)
授業担当者(所 属・職名)	大島 康西野 克	雄(社会福祉学科 俊(社会福祉学科	・准教授)、 ・専任講師)	研究室等所在	1号館	2階
単位数	2	(単位認定責任者: 大語	,	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相 神保健福祉援助実習が対	談援助をしていた教員が 果的になるように授業を	が、実習に向けた学習・ を行います。	体験などを通じて精

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書								
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1	『「精神保健福祉援助実習指導・実習」』	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2012	978-4-8058-5120-3				
2									
3									
4									
5									

授業計画								
	各授業回における学習[内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間					
凹	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)					
1	オリエンテーション:精神保健福祉援助実習に向け て、シラバスの説明。	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)					
2	精神保健福祉士として必要な知識について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)					
3	精神保健福祉士として必要な技術について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)					
4	精神科病院の見学	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)					
5	精神科デイケアなどの見学	精神科デイケアなどの学習(90分)	精神科デイケアなどの振り返り(90分)					
6	精神科病院・デイケア見学の振り返り	実習日誌の作成(90分)	実習日誌の指摘事項の確認及び修正(90分)					
7	地域活動支援センターの業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)					
8	就労移行・継続支援事業所の業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の指摘事項の確認、修正(90分)					
9	精神科医療機関の業務理解	エントリーシート作成(90分)	エントリーシートの指導内容の確認及び修正(90分)					
10	実習計画書作成の仕方	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)					
11	実習計画書作成	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)					
12	実習計画書発表	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)					
13	実習日誌の書き方	事前学習の資料作成(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)					
14	事前訪問とマナー	実習計画書の修正(90分)	実習計画書の指導内容の確認及び修正(90分)					
15	実習に向けて	実習計画書の修正(90分)	電話がけの練習(90分)					
16	実習に向けたプレゼンテーション。また、プレゼン テーションの評価を行う。	プレゼンテーションの練習(90分)	プレゼンテーションの振り返り(90分)					

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1									
2									
3									
4									
5									

授業計画								
回		内容及び授業外学修として準備学習・						
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

科目分類区分	É	亨門科目	対象学科・配当	社会	会福祉学科・4年	
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保健	福祉援助実習	(科目ナンバリン	ノグ: SWS123049)
授業担当者(所 属・職名)	大島 康雄西野 克俊	(社会福祉学科 (社会福祉学科	・准教授)、 ・専任講師)	研究室等所在	1号館	2 階
単位数	2 (単	位認定責任者: 大島	,	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相神保健福祉援助実習が対	談援助をしていた教員が 開いになるように授業で	が、実習に向けた学習・ を行います。	体験などを通じて精
オフィスアワー			研究室前の掲示ボー	- ド等を参照		

概要

殭	412	ŻΕ	3 1	画

精神保健福祉士として必要な知識・技術についての基礎を培うことをする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(2)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

精神保健福祉分野における現状や課題を認識する。精神保健福祉援助実習の目的が明確にできる。

授業全体の内容と概要

精神保健福祉援助実習の事前指導を行う。「SDG 4.質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

事前学習を行い、実習の目的を深めてもらう。また、接遇などを身につけられるように練習してもらう。教科書、板書、グループワークや具体的な場面を想定した ロールフレイを行う。質問に対してはその場で対応します。また、疑問点に関しては解説を行い、知識のフィードバックを行います。ICT活用(双方向型授業・ 目主学者支援など)、Microsol Teams/Forms の錯帳を活用し、意見交換、質問、教材配布をそ行う。

アクティブラーニングの実施方法

0	プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク	PBL
	模擬授業	0	ロールプレイ	調査学習	反転授業
0	ディスカッション	0	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

出席を重視します。 やむを得ず運刻や欠席をするときには,原則として事前に連絡をすること。 精神保健福祉士国家試験の受験資格取得のための必須科目です。 知りたい,聞きたい,理解しようという積極的な姿勢が必要であると同時に,精神保健福祉に関 する事柄に対し自ら問題意識を持って履修すること。

修学サポート(合理的配慮)	
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。	
資格指定科目	
精神保健福祉士国家試験受験資格課程	
TO THE BUILT IN SUPPLY AS A HUNTE	

並佈方法, 其淮

評価方法・基準										
評価前提条件	評価前提条件									
単位認定に必要となる最低	単位認定に必要となる最低出席回数は12回以上									
 評価方法										
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他					
72.7034-104	7.0.	Brock II am	1127711	1 10/11	6.010					
0 %	0 %	0 %	0 %	0 %	1 0 0 %					
1										

ルーブリック					
			評価基準		
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
授業に参加し、事前学習を 進めている。	事前学習の資料が整理され	14回以上授業に参加し、 事前学習の資料が整理され 積極的に学習ができた。	13回以上授業に参加し 事前学習の資料が整理され 積極的に学習ができた。	12回以上授業に参加し、 事前学習の資料が整理され 積極的に学習ができた。	1 1回以下しか授業に参加できなかった。
実習目標、実習計画が明確 になり、実習計画書、自己 PRが作成できる。	自己分析が行え、実習計画 、自己PRが整理され、記載 できた。	実習計画、自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが整理され、記載できた。	実習計画か自己PRが記載できた。	実習計画、自己PRを記載で きなかった。
実習として必要な接遇が行え、適切な相談援助技術を 使用できる。	挨拶 - アセスメントまで実 留で問題ないレベルまでで きた。	挨拶 - アセスメントまでできた。	挨拶 - インテークまででき た。	挨拶までできた。	挨拶やソーシャルワークか できなかった。

科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社会		
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	精神保備	建福祉援助実習	(科目ナンバリン	ノグ: SWS123049)
授業担当者(所 属・職名)	大島 康西野 克	雄(社会福祉学科 俊(社会福祉学科	・准教授)、 ・専任講師)	研究室等所在	1号館	2 階
単位数	2	(単位認定責任者: 大島	島 康雄)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	精神保健福祉士として相 神保健福祉援助実習が対	談援助をしていた教員が 果的になるように授業を	が、実習に向けた学習・ を行います。	体験などを通じて精

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書								
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1	『「精神保健福祉援助実習指導・実習」』	日本精神保健福祉士養成校協会	中央法規	2012年	978-4-8058-5120-3				
2									
3									
4									
5									

1X 3K 011								
授業計	授業計画							
回	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間					
Ш	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
1	オリエンテーション:精神保健福祉援助実習に向け て、シラバスの説明。	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)					
2	精神保健福祉士として必要な知識について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)					
3	精神保健福祉士として必要な技術について	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)					
4	精神科病院の見学	事前学習の資料作成(90分)	精神科病院の見学の振り返す(90分)					
5	精神科デイケアなどの見学	精神科デイケアなどの学習(90分)	精神科デイケアなどの振り返り(90分)					
6	精神科病院・デイケア見学の振り返り	実習日誌の作成(90分)	実習日誌の修正(90分)					
7	地域活動支援センターの業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)					
8	就労移行・継続支援事業所の業務理解	事前学習の資料作成(90分)	事前学習の資料作成(90分)					
9	精神科医療機関の業務理解	エントリーシート作成(90分)	エントリーシート作成(90分)					
10	実習計画書作成の仕方	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の作成(90分)					
11	実習計画書作成	実習計画書の作成 (90分)	実習計画書の作成(90分)					
12	実習計画書発表	実習計画書の作成(90分)	実習計画書の作成(90分)					
13	実習日誌の書き方	事前学習の資料作成(90分)	実習計画書の修正(90分)					
14	事前訪問とマナー	実習計画書の修正(90分)	実習計画書の修正(90分)					
15	実習に向けて	実習計画書の修正(90分)	電話がけの練習(90分)					
16	実習に向けたプレゼンテーション。	プレゼンテーションの練習(90分)	プレゼンテーションの振り返り(90分)					

参	参考文献・資料等							
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考		
1								
2								
3								
4								
5								

授業計	授業計画						
回		内容及び授業外学修として準備学習・					
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)				
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会	会福祉学科・3年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択	
科目名称	特別支援教育実習(事	(科目ナンバリン	ング: SNE123116)	
授業担当者(所 属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科 、藤根 収(社会福祉学	・特任教授) 科・特任教	研究室等所在	2 号館	8階	
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志) CAP制					
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	学校現場における教員経 る。	『験がある教員がその経 』	験を活かして、教育実習	について事前指導す	
オフィスアワー		研究室前の掲示ボー	- ド等を参照			

概要

加久	\blacksquare	+4

特別支援教育の趣旨や内容を理解するとともに、特別支援学校教諭一種免許状取得のために必要な教育実習の意義を理解する。模擬授業等の演習では、教育実習を 見据え、学校現場で教壇にたつ教師の役割を意識して学ぶ。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(2)(4)(5)に対応する。

到達目標

特別支援学校教育の概要や教育実習について理解し、障害のある子どもの教育活動や授業づくりに必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付ける。

授業全体の内容と概要

特別支援学校教育の概要および授業の実際について理解できるとともに、学校の教育活動全般についても具体的な理解を図るようにする。 「SDG4、質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業はパワーポイント及び配布物資料で実施するとともに、学生自らが考えた授業設計や指導案づくり、模擬授業等を実際の学校現場に近い内容で実施する。演習 後にはコメントにてフィードバックする。また、夏季体闘等を活用して学校現場の見学や公開授業研究会等に参加させ、レポート提出を行う。なお、指導案やレポートにはコメントにてフィードバックする。学生の質問等については、チャット形式などの支援プチムで迅速に回答する。

アクティブラーニングの実施方法

	0	プレゼンテーション		グループワーク	フィールドワーク	PBL
	0	模擬授業	0	ロールプレイ	調査学習	反転授業
I		ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業	その他 (授業の方法参照)

履修上の注意事項

- 1 常に障害のある子どもの前に立って指導する姿を想定して授業に臨むこと。
 2 4年生での特別支援学校の教育実習 (事前・事後指導)の単位取得に必修料目であること。
 3 普段から障害のある子どもの生活が教育に関する新聞記事やテレビ情報を収集すること。
 4 学習指導案作成にかかわる情報の収集に努め、教育実習に備えること。
 5 適年授業なので、下記の授業が外に特別支援学校の参載や研究授業等に参加するようにすること。
 6 模擬授業を行う際には、授業者以外は生徒役を実践して授業案の作成・授業展開等について学ぶこと。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

教職課程 (特別支援学校教諭)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要になる最低出席回数は、10回以上

評価方法

	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0 %	8 0 %	0 %	0 %	0 %	2 0 %

ルーブリック	レーブリック					
	評価基準					
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	
特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解	知識・技能に関する基礎的 内容について高い関心をもって理解し、さらに深めて ようとすることができた。	知識・技能に関する基礎的 内容について、関心をもっ で理解し、学修することが できた。	知識・技能に関する基礎的 内容を学修することができ た。	知識・技能に関する基礎的 内容について一定程度理解 することができた。	知識・技能に関する基礎的 内容の理解ができなかった。	
授業づくりに対しての思考 ・判断・表現	自ら授業づくりを構想し 創意工夫を凝らした指導 作成と模擬授業に積極的に 取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し 指導条作成と模擬授業に積 極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを構想し 指導条作成と模擬授業に取 り組んだ。	指導案作成と模擬授業に取 り組んだ。	指導案作成と模擬授業への 取り組みが十分にできなか った。	
授業や模擬授業への取り組 み姿勢	非常に積極的に取り組むことができた。	積極的に取り組むことができた。	関心をもって取り組むことができた。	関心をもって取り組もうとした。	取組態度・姿勢が不十分だった。	

- 1 113 11X					
科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社:	会福祉学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支援教育実習((科目ナンバリン	ング: SNE123116)
授業担当者(所 属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学 、藤根 収(社会福祉	科・特任教授) 学科・特任教	研究室等所在	2 号館	8階
単位数	1 (単位認定責任者:	堀川 厚志)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実 経験と授業関連内容	学校現場における教員総 る。	経験がある教員がその経 り	験を活かして、教育実習	について事前指導す

教科書・参考文献・資料等

教和	枚科書								
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1	『特別支援教育の基礎・基本 2020』	国立特別支援教育総合研究所	ジアース教育新社	2020	978-4-86371-548-6				
2									
3									
4									
5									

	未川凹							
授業計	授業計画							
	各授業回における学習[事後学習の内容・時間						
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
1	オリエンテーション / シラバスの説明、授業改善アンケート結果反映の説明 等	教育実習に臨む心構えを発表する準備をしてくること。 (90分)	オリエンテーションの重要事項を整理すること。 (90分)					
2	特別支援学校の教育実習の意義や目標	事前に意義や目標を調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
3	教育実習の実際 (挨拶、服務規律、注意点)	前時に学んだことを振り返り、発表できるようにすること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
4	実習のスケジュールと心構え	先輩等から聴取して、必要な準備やスケジュールを 調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
5	実習日誌の書き方、文章の書き方	実習日誌について内容や書き方などを調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
6	特別支援学校教育の実際	特別支援学校児童生徒や教育課程等を調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
7	学習指導案の作成 (学習指導案の構成と要素)	学習指導案について内容や必要な要素などを調べて おくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
8	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の方法 1)	児童生徒の実態を踏まえた児童生徒の実態を踏まえ た目標設定などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
9	学学習指導案の作成 (学習指導案の記入の方法 2)	学習指導案の作成の方法などを調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
10	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の実際 1)	対象児童生徒を想定して学習指導案について考えて おくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
11	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の実際 2)	必要な教材の準備、具体的な指導方法等を考えてく ること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)					
12	模擬授業の実際 (各教科を合わせた指導)	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしてくること。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)					
13	模擬授業の実際 (各教科等を合わせた指導)	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしてくる こと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)					
14	模擬授業の実際 (各教科等を合わせた指導)	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしてくること。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)					
15	模擬授業のまとめと今後の課題 授業改善アンケートの実施	模擬授業の反省点等を明確にして発表できるよう準備してくること。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)					
16	レポート (最終回において解説しフィードバックする。)	講義等の内容を整理しておくこと。(90分)	解説内容を整理すること。(90分)					

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1	『特別支援学校学習指導要領』	文部科学省	海文堂出版	2018	978-4-303-12424-3				
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎 猛 小泉博明	小学館	2015	978-4-09-105015-1				
3									
4									
5									

授業計	授業計画							
回		各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間						
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社会	会福祉学科・4年		
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択	
科目名称	特別支持	寺別支援教育実習(事 (科目ナンバリング: SNE123116)					
授業担当者(所 属・職名)	荒木広式 千葉聡美	荒木広式(社会福祉学科・特任教授)、 千葉聡美(社会福祉学科・特任教授)			2 号館 2	8 階	
単位数	1	(単位認定責任者: 荒	木広式)	CAP制			
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	学校現場における教員経 る。	『験がある教員がその経』	験を活かして、教育実習 に	こついて事前指導す	
オフィスアワー			研究室前の掲示ボー	- ド等を参照		·	

概要

7	攸	$\overline{\Box}$	#3

特別支援教育の趣旨や内容を理解するとともに、特別支援学校教諭一種免許状取得のために必要な教育実習の意義を理解する。模擬授業等の演習では、教育実習を 見据え、学校現場で教壇にたつ教師の役割を意識して学ぶ。

授業の位置づけ

「社会福祉学科」のDP(2)(4)(5)に対応する。

到達目標

特別支援学校教育の概要や教育実習について理解し、障害のある子どもの教育活動や授業づくりに必要な基礎的な知識、技能、態度を身に付ける。

授業全体の内容と概要

特別支援学校教育の概要および授業の実際について理解できるとともに、学校の教育活動全般についても具体的な理解を図るようにする。「SDG4.質の高い教育をみんなに」の関連授業。

授業の方法

授業はパワーポイント及び配布物資料で実施するとともに、学生自らが考えた授業設計や指導案づくり、模擬授業等を実際の学校現場に近い内容で実施する。演習 後にはコメントにてフィードバックする。また、夏季休暇等を活用して学校現場の見学や公開授業研究会等に参加させ、レポート提出を行う。なお、指導案やレポートにはコメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法

0	プレゼンテーション		グループワーク	フィールドワーク	PBL
0	模擬授業	0	ロールプレイ	調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

- 1 常に障害のある子どもの前に立って指導する姿を想定して授業に臨むこと。
 2 4年生での特別支援学校の教育実習 (事前・事後指導)の単位取得に必修料目であること。
 3 普段から障害児のある子どもの生活や教育に関する新聞記事やテレビ情報を収集すること。
 4 学習指導案作成にかかわる情報の収集に努め、教育実習に備えること。
 5 適年授業なので、下記の授業以外に特別支援学校の参観や研究援業等に参加するようにすること。
 6 模擬授業を行う際には、授業者以外は生徒役を実践して授業案の作成・授業展開等について学ぶこと。

修学サポー	卜 (合理的配慮
-------	------------	-------

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

教職課程 (特別支援) 必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要になる最低出席回数は、10回以上

評価方法

H 1 11-17 9 1-1					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0 %	8 0 %	0 %	0 %	0 %	2 0 %

ルーブリック			評価基準		
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	服修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
特別支援教育の基礎的な知識・技能の理解	知識・技能に関する基礎的 内容について高い関心をもって理解し、さらに深め ようとすることができた。	知識・技能に関する基礎的 内容について、関心をもっ で登解し、学修することが できた。	知識・技能に関する基礎的 内容を学修することができ た。	知識・技能に関する基礎的 内容について一定程度理解 することができた。	知識・技能に関する基礎的 内容の理解ができなかった。
	自ら授業づくりを橋想し、 創意工夫を凝らした指導案 作成と機擬授業に積極的に 取り組んだ。	自ら授業づくりを橋想し、 指導案作成と模擬授業に積 極的に取り組んだ。	自ら授業づくりを橋想し、 指導案作成と模擬授業に取 り組んだ。	指導案作成と模擬授業に取 り組んだ。	指導案作成と模擬授業への 取り組みが十分にできなか った。
授業や模擬授業への取り組 み姿勢	非常に積極的に取り組むことができた。	積極的に取り組むことができた。	関心をもって取り組むこと ができた。	関心をもって取り組もうと した。	取組態度・姿勢が不十分だった。

TO THE TIME	-					
科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社会	会福祉学科・4年	
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	特別支持	爰教育実習(事	(科目ナンバリン	ノグ: SNE123116)
授業担当者(所 属・職名)	荒木広式 千葉聡美	(社会福祉学科・ 美(社会福祉学科・	特任教授)、 特任教授)	研究室等所在	2 号館	8階
単位数	1	(単位認定責任者: 荒	木広式)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	学校現場における教員経 る。	験がある教員がその経り	倹を活かして、教育実習	について事前指導す

教科書・参考文献・資料等

教和	牧科書									
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1	『特別支援教育の基礎・基本 2020』	国立特別支援教育総合研究所	ジアース教育新社	2020	978-4-86371-548-6					
2										
3										
4										
5										

1又未 11	<u> </u>		
授業計	画		
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間
ഥ	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	オリエンテーション / シラバスの説明等	教育実習に臨む心構えを発表する準備をしてくること。 (90分)	オリエンテーションの重要事項を整理すること。 (90分)
2	特別支援学校の教育実習の意義や目標	事前に意義や目標を調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90 分)
3	教育実習の実際 (挨拶、服務規律、注意点)	前時に学んだことを振り返り、発表できるようにすること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
4	実習のスケジュールと心構え	先輩等から聴取して、必要な準備やスケジュールを 調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
5	実習日誌の書き方、文章の書き方	実習日誌について内容や書き方などを調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
6	特別支援学校教育の実際	特別支援学校児童生徒や教育課程等を調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
7	学習指導案の作成 (学習指導案の構成と要素)	学習指導案について内容や必要な要素などを調べて おくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
8	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の方法 1)	児童生徒の実態を踏まえた児童生徒の実態を踏まえ た目標設定などを調べておくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
9	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の方法 2)	学習指導案の作成の方法などを調べておくこと。 (90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
10	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の実際 1)	対象児童生徒を想定して学習指導案について考えて おくこと。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
11	学習指導案の作成 (学習指導案の記入の実際 2)	必要な教材の準備、具体的な指導方法等を考えてく ること。(90分)	授業内容の概要と課題等を整理すること。 (90分)
12	模擬授業の実際 (各教科を合わせた指導)	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしてくる こと。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)
13	模擬授業の実際 (各教科等を合わせた指導)	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしてくること。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)
14	模擬授業の実際 (各教科等を合わせた指導)	対象児童生徒を想定して模擬授業の準備をしてくること。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)
15	模擬授業のまとめと今後の課題	模擬授業の反省点等を明確にして発表できるよう準備してくること。(90分)	模擬授業の振り返りと課題等を整理すること 。(90分)
16	レポート (最終回において解説しフィードバックする。)	講義等の内容を整理しておくこと。(90分)	解説内容を整理すること。(90分)

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1	『特別支援学校学習指導要領』	文部科学省	海文堂出版	2018	978-4-303-12424-3				
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎 猛 小泉博明	小学館	2015	978-4-09-105015-1				
3									
4									
5									

授業計								
	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間							
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								

科目分類区分	教育実践に関する科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校インターンシップ(学校	🗴 (科目ナンバリン	ング:ESS143164 , SS443107 , E	ESS243112 , ESS3 SS543116	⁴³¹⁰⁵ , E)
授業担当者(所 属・職名)	渡部斎(社会福祉学科・ 式(社会福祉学科・特任	教授)、荒木広 教授)、藤根収	研究室等所在	2 号館	8階
単位数	1 (単位認定責任者:	堀川厚志)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	_{実務経験あり} 左記に該当する場合の9 経験と授業関連内容	実務経験のある教員が与	^ど 校体験活動に必要な事	頁を指導する。	
オフィスアワー		研究室前の掲示ボー	- ド等を参照	•	

概要

履修目標

きる。 児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解することができる。 教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握することができる。

授業の位置づけ

経営学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。 デザイン学科のDP(2)と(4)に対応する。 建築学科のDP(2)と(4)に対応する。 社会福祉学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。

到達目標

学校において一定量の体験活動を行うことにより、学校教育の実際を総合的に理解することができる。

授業全体の内容と概要

学校において学校運営にかかわる体験活動を行うことにより、児童生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解するとともに、教員に求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握する。 活動ごとに活動報告書に記入し、活動体験発表とにて活動状況等について発表する。

授業の方法

学校において、生徒の話し相手、授業補助、学校行事・部活動への参加、事務作業の補助、放課後児童クラブ、放課後教室、土曜授業の補助、特別支援活動等に従 事するとともに、活動報告書に具体的な活動及び学修事項を記入する。 体験活動等条金において成果等を発表し全体で共有する。 活動報告書については、評価とコメントにてフィードパックを行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク	フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
ディスカッション	0	実験・実習・実技	双方向授業	0	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

服装・頭髪はもとは)、個人情報の取扱い等について体験活動受入先の指示に従うこと。 出席状況、安誦際図点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後学習活動の機会を失うことがある。 担当教員は適宜、体験活動視察及び面談指導を行う。

修学サポート	· (合理的配慮)
事前扣款を采け	大学の甘木七針 ひび知る

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

事前指導・事後指導を含め、高等学校等における体験活動等を45分×30単位時間(1350分)以上行わなければならない。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他		
0 %	2 0 %	0 %	0 %	0 %	8 0 %		

			評価基準	基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない			
知識・技能	右の記述について、きわめて高いレベルで実現することができた。	活動の内容及び学校運営上 の意義、教員に求められる 資質能力及び自らの適格性 についてよく理解すること ができた。	活動の内容及び学校運営上 の意義、教員に求められる 資質能力及び自らの適格性 について概ね理解すること ができた。	の意義、教員に求められる 資質能力及び自らの適格性	の意義、教員に求められ 資質能力及び自らの適相			
思考力・判断力・表現力等	右の記述について、きわめ て高いレベルで実現するこ とができた。	の意義、教員に求められる	の意義、教員に求められる 姿質能力及び教員としての	の意義、教員に求められる 姿質能力及び教員としての	の意義、教員に求められ			
意欲(主体的・積極的な取 組態度)	右の記述について、きわめ て高いレベルで実現するこ とができた。	各体験活動に大変主体的・ 積極的に取り組むことがで きた。	各体験活動に概ね主体的・ 積極的に取り組むことがで きた。	各体験活動への取組に特段 主体性・積極性は見られな かった。	各体験活動に主体的・利 的に取り組む能のを最低が 欠け、期待される最低的 の基準に到達することが きなかった。			

科目分類区分	教育実践に関する	5科目	対象学	4科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年		授	業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校インターンシップ	(学校	(科	目ナンバリン	ノグ:ESS143164 , SS443107 , E	ESS243112 , ESS34 SS543116	⁴³¹⁰⁵ , E)
授業担当者(所 属・職名)	渡部斎(社会福祉 式(社会福祉学科	:学科・教 ・特任教	受)、 受)、	荒木広 藤根収	研究室等所在	2 号館	8階
単位数	1 (単位認定責任者	首: 堀	川厚志)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当す 経験と授	⁻ る場合の実務 業関連内容	実務経験	のある教員が学	校体験活動に必要な事項	頁を指導する。	

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書						
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1							
2							
3							
4							
5							

授業計画						
	各授業回における学習[内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間			
凹	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)			
1	事前指導・オリエンテーション (シラバスの説明含む)	シラバスを読む (4 5 分)	体験活動のシステムを復習する (45分)			
2	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
3	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
4	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
5	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
6	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
7	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
8	活動受入校における体験活動	事前に受人校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
9	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
10	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
11	活動受入校における体験活動	事前に受人校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
12	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
13	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
14	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
15	活動受入校における体験活動	事前に受人校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)			
16	事後指導における活動体験の振り返りと体験発表	活動体験をまとめる (45分)	活動報告書の感想を書く (45分)			

参	参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1							
2							
3							
4							
5							

授業計画						
回	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・				
ഥ	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)			
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

科目分類区分		自由科目	対象学科・配当	全学科・4年			
開講時期		通年	授業形態	実習	必修・選択	必修	
科目名称	学校心	ターンシップ(学校	(科目ナンバリン	ノグ:ESS143164 , SS443107 , E	ESS243112 , ESS3 SS543116	⁴³¹⁰⁵ , ^E)	
授業担当者(所 属・職名)	渡部斎(式(社会	社会福祉学科・教 福祉学科・特任教	授)、荒木広 授)、藤根収	研究室等所在	2 号館	8階	
単位数	1	(単位認定責任者: 堀	川厚志)	CAP制			
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	実務経験のある教員が学	校体験活動に必要な事	頁を指導する。		
オフィスアワー		研究室前の掲示ボード等を参照。					

概要

履修目標

授業の位置づけ

経営学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。 デザイン学科のDP(2)と(4)に対応する。 建築学科のDP(2)と(4)に対応する。 社会福祉学科のDP(2)と(4)と(5)に対応する。

到達目標

学校において一定量の体験活動を行うことで、学校教育の実際を総合的に理解することができる。

授業全体の内容と概要

学校において、学校運営にかかわる体験活動を行うことにより、児童又は生徒の実態と、これを踏まえた学校経営及び教育活動の特色を理解するとともに、教員に 求められる資質能力や自らの教員としての適格性を把握する。 活動ごとに活動記録を記入し、活動体験発表会にて発表する。

授業の方法

学校において、生徒の話し相手、授業補助、学校行事・部活動への参加、事務作業の補助、放課後児童クラブ、放課後教室、土曜授業の補助、特別支援活動等に従 事するとともに、活動日誌に具体的な活動及び学修事項を記入する。 体験活動について全体現金において成果等を発表し共有する。 活動報告については、評価とコメントにてフィードパックを行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション		グループワーク	フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ	調査学習		反転授業
ディスカッション	0	実験・実習・実技	双方向授業	0	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

服装・頭髪はもとは)、個人情報の取扱い等について体験活動受入先の指示に従うこと。 出席状況、安誦際図点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後学習活動の機会を失うことがある。 担当教員は適宜、体験活動視察及び面談指導を行う。

修学サポート(合理的配慮)

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと、修学サポートする。

資格指定科目

教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

事前指導・事後指導を含め、高等学校等における体験活動等を45分×30単位時間(1350分)以上行わなければならない。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他				
0 %	2 0 %	0 %	0 %	0 %	8 0 %				

ルーブリック	評価基準										
評価項目	履修項目を超えたレベルを		履修目標と到達目標の間にある								
n im-sci	達成している	履修項目をほぼ達成している	レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない						
口識・技能	右の記述について、きわめ て高いレベルで実現するこ	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる	活動の内容及び学校運営上の意義、教員に求められる	活動の内容及び学校運営上 の意義、教員に求められる	活動の内容及び学校運営」 の意義、教員に求められる						
	とができた。	賃買能刀及び目らの週格性 についてよく理解すること ができた。	貧質能刀及ひ目らの週格性 について概ね理解すること ができた。	資質能力及び自らの適格性 について最低限理解することができた。	貧質能刀及ひ目らの週格† について理解が著しく不見 し、期待される最低限度の						
		13 CC 7C.	13 CC 7C.		基準に到達することができ なかった。						
思考力・判断力・表現力等	右の記述について、きわめ て高いレベルで実現するこ	の意義. 教員に求められる	の意義. 教員に求められる	の意義. 教員に求められる	の意義. 教員に求められる						
	とができた。	資質能力及び教員としての 適格性や解決すべき課題に	資質能力及び教員としての 適格性や解決すべき課題に	資質能力及び教員としての 適格性や解決すべき課題に ついて最低限思考・判断す	資質能力及び教員としての 適格性や解決すべき課題に						
		ることができた。	ことができた。	ることができた。	なされず、期待される最信 限度の基準に到達できなが						
					った。						
急欲(主体的・積極的な耶 組態度)	7 右の記述について、きわめ て高いレベルで宝現するこ	各体験活動に大変主体的・ 積極的に取り組むことがで	各体験活動に概ね主体的・ 積極的に取り組むことがで	各体験活動への取組に特段 主体性・積極性は見られな	各体験活動に主体的・積板のに取り組む能度が著しく						
missise)	とができた。	きた。	きた。	かった。	欠け、期待される最低限度 の基準に到達することがで						
					きなかった。						
	1		l		l						

科目分類区分		自由科目		対象学	料・配当		全学科・4年	
開講時期		通年		授	業形態	実習	必修・選択	必修
科目名称	学校インタ-	-ンシッフ゜(<u>≒</u>	学校	(科	目ナンバリン	ッグ:ESS143164 , SS443107 ,	ESS243112 , ESS3 ESS543116	⁴³¹⁰⁵ , E)
授業担当者(所 属・職名)	渡部斎(社 式(社会福	t会福祉学科 a祉学科・特	↓・教排 任教排	受)、 受)、	荒木広 藤根収	研究室等所在	2 号館	8階
単位数	1 (単	位認定責任者:	堀	川厚志)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	記に該当する場合 経験と授業関連	≩の実務Ⅰ	実務経験	のある教員が学	学校体験活動に必要な事	項を指導する。	

教科書・参考文献・資料等

教和	效科書											
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考						
1												
2												
3												
4												
5												

授業計画										
0	各授業回における学習	内容及び授業外学修として準備学習	・事後学習の内容・時間							
ഥ	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習 (所要時間)							
1	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	体験活動のシステムを復習する (45分)							
2	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
3	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
4	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
5	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
6	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
7	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
8	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
9	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
10	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
11	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
12	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
13	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
14	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動記録表を完成する (45分)							
15	活動受入校における体験活動	事前に受入校と打合せを行う (45分)	活動報告書を完成する (45分)							
16	4年次事後指導・活動体験発表	活動体験をまとめる (45分)	活動体験発表の感想を書く (45分)							

参	参考文献・資料等											
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考						
1												
2												
3												
4												
5												

授業計画										
回	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間							
비	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)							
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										

科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社	会福祉学科・3年			
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択		
科目名称	保育	下実習指導	(科目ナンバリン	ノグ: CHS122096)		
授業担当者(所 属・職名)		子(社会福祉学科 i佳(社会福祉学科	・准教授) ・専任講師)	研究室等所在	1 号館 2 階 (吉江 階 (湯)) 1号館3 &)		
単位数	2	(単位認定責任者: 吉河	I 幸子)	CAP制	×			
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	保育士として保育施設で う。	の勤務経験があり、その	D経験を生かして保育実 習	rに向けた指導を行 である。		
オフィスアワー		研究室前の掲示ボード等を参照。						

概要

履修目標

- 保育実習の意義と目的を理解する。
 実習実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。
 実習法というでは、対象を理解し、自らの課題を明確にする。
 実習法というでは、対象を理解し、自らの課題を明確にする。
 実習が表現とする。
 とのでは、対象を定める。
 までは、観察、記録、評価の方法や内容について具体的に理解する。
 を表現して、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(2)(5)に対応する。

到達目標

実習の意義,実習の内容と課題の明確化,実習に際しての留意事項,実習の計画と記録について理解する。

授業全体の内容と概要

実習の意義,実習の内容と課題の明確化,実習に際しての留意事項,実習の計画と記録について学修する。「5064. 質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業はパワーポイントや視聴覚教材(DVD・ブルーレイ)も取り入れながら演習形式で行う。実習の事前指導及び事後指導も含まれるので必要に応じてグループワーク やグループ学習も実施し、その都度発生した疑問・質問などにはフィードバックとして解説を行い,実習終了後は報告会を実施する。Microsoft Teams/Forms の諸 機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法

○ プレゼンテーション		0	グループワーク	フィールドワーク	PBL
	模擬授業	0	ロールプレイ	調査学習	反転授業
0	ディスカッション	0	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

俢字サボート(合理的配慮
----------------	-------

事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。

資格指定科目

保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要となる最低出席回数は、前期11回以上及び後期11回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0 %	2 0 %	1 0 %	0 %	1 0 %	6 0 %

ルーブリック 評価基準 評価項目 履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している 履修項目を超えたレベルを 達成している 履修項目をほぼ達成している 到達目標を達成している 到達目標を達成していない 知識・技能(何を知ってい るか,何が出来るか) 保育の専門的知識について 十分理解していた。 保育の専門的知識について 保育の専門的知識について 保育の専門的知識について 概ね理解していた。 理解していた。 多少は理解していた。 保育の専門的知識について 理解していなかった。 保育実習による総合的な学 保育実習による総合的な学 保育実習による総合的な学 保育実習による総合的な学 保育実習による総合的な学 保育実習による総合的な学 保育実習による総合的な学 ひを、記録で表すことができた。 とができた。 さた、 主体的に取り組む態度(ど のように関わるか) 保育実習による自己評価と 課題の明確化に積極的に取 現態の明確化に積極的に取 り組むことができた。 むことができた。 パフォーマンス(知識 , ス キルを使いこなす活用 , 応

_ 1 110 1111	-					
科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社	会福祉学科・3年	
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育	実習指導	(科目ナンバリン	ング: CHS122096)
授業担当者(所 属・職名)	吉江 幸湯浅 賴	子(社会福祉学科 i佳(社会福祉学科	・准教授) ・専任講師)	研究室等所在	1号館2階(吉江) 階(湯浅)	1号館3
単位数	2	(単位認定責任者: 吉	江 幸子)	CAP制	×	
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	保育士として保育施設でう。	『の勤務経験があり、そ	の経験を生かして保育実習に何	句けた指導を行

教科書・参考文献・資料等

教和	科書					
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育 所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』	石橋裕子・林 幸範 編著	同文書院	2020年	9784810314755	
2						
3						
4						
5						

授業計画							
	各授業回における学習[内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間				
凹	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)				
1	オリエンテーション及びシラバスの説明	保育所実習の目的について考え,教科書の学習内容 部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
2	保育所実習の意義(1)実習の目的	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
3	保育所実習の意義(2)実習の概要	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
4	保育所実習の内容と課題の明確化(1)実習の内容	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
5	保育所実習の内容と課題の明確化(2)実習の課題	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
6	保育所実習に際しての留意事項(1)子どもの人権と 最善の利益の考慮	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
7	保育所実習に際しての留意事項(2)プライバシーの 保護と守秘義務	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
8	保育所実習に際しての留意事項(3)実習生としての 心構え	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
9	保育所実習の計画と記録(1)指導計画の作成	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
10	保育所実習の計画と記録(2)指導計画の実践	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
11	保育所実習の計画と記録(3)指導計画の改善	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
12	保育所実習の計画と記録(4)実習における記録及び 評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
13	事後指導における実習の総括と課題の明確化(1)保育所実習の総括と自己評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
14	事後指導における実習の総括と課題の明確化(2)課題の明確化	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)				
15	保育所実習報告会	保育所実習報告会の資料を作成する(45分)	保育所実習報告会のまとめと反省を行う (45分)				
16	保育所実習のまとめと振り返り	保育所実習のまとめと振り返りの準備をする(45分)	施設実習の目的について考える(45分)				

参	参考文献・資料等								
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考			
1	『実習の手引き』								
2									
3									
4									
5									

受業計		→ ウフィグダッドリング (大学) - 大学 (大学) -	東後光羽の土中 吐田
回		内容及び授業外学修として準備学習・ 準備学習(所要時間)	事後字省の内容・時間 事後学習(所要時間)
17	施設実習のオリエンテーション	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
18	施設実習の意義(1)実習の目的	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
19	施設実習の意義(2)実習の概要	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
20	施設実習の内容と課題の明確化(1)実習の内容	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
21	施設実習の内容と課題の明確化(2)実習の課題	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
22	施設実習に際しての留意事項(1)子どもの人権と最善の利益の考慮	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
23	保育所実習に際しての留意事項(2)プライバシーの 保護と守秘義務	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
24	施設実習に際しての留意事項(3)実習生としての心 構え	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
25	施設実習の計画と記録(1)指導計画の作成	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
26	施設実習の計画と記録(2)指導計画の実践	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
27	施設実習の計画と記録(3)指導計画の改善	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
28	施設実習の計画と記録(4)実習における記録及び評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
29	事後指導における実習の総括と課題の明確化(1)保育所実習の総括と自己評価	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
30	事後指導における実習の総括と課題の明確化(2)課 題の明確化	教科書の学習内容部分を数回読んでおく(45分)	ノート整理を含めた復習を行う(45分)
31	施設実習報告会	施設実習報告会の資料を作成する(45分)	施設実習報告会のまとめと反省を行う (45分)
32	施設実習のまとめと振り返り	施設実習のまとめと振り返りに向けて準備をする(45分)	施設実習について振り返り考察する(45分)

科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	社会	会福祉学科・4年	
開講時期		通年	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	保育	実習指導	(科目ナンバリン	レグ: CHS123097)
授業担当者(所 属・職名)	吉江	幸子(社会福祉学科	斗・准教授)	研究室等所在	1号館 2	2 階
単位数	1	(単位認定責任者: 吉河	I 幸子)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	保育現場における実習指	i導の経験を活かし、実i	習の事前事後指導を行う。	•
オフィスアワー		_	研究室前の掲示ボー	ド等を参照。		

概要

履修目標

- この科目は、以下の5つを授業の目的とする。 1. 保育実習の意義と目的を理解り、保育について総合的に学ぶ。 2. 実習や既習の契約の科容やその削速性を踏まえ、保育実践力を培う。 3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。 4. 保育士の専門性と職者と関係について実践や事例を通して学ぶ。 5. 実習の事後指導を選して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(1)(3)(4)(5)に対応する。

到達目標

保育実習による総合的な学び,保育実践力の育成,計画と観察,記録,自己評価,保育士の専門性と職業倫理について理解し、具体的に述べる。

授業全体の内容と概要

保育実習 (保育所実習)の履修者に対して指導を行う。保育実習による総合的な学び,保育実践力の育成,計画と観察,記録,自己評価,保育士の専門性と職業倫理について学修する。「SDG4、質の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業は、板書とパワーポイント、グループ学習を取り入れ、意見を出し合う場を多く設定する。 また、模擬保倉を取り入れ、お互いを評価しあう時間を設定する。 提出されたレポートにはコメントをつけてフィード/ックする。 Microsoft Teams/Forms の話機能を活用し、意見交換、質問、教材配布等を行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

正当な理由なき連刻、欠原は実習をとりやめにする。保育者の資質に欠ける者は、実習をとりやめとする。実習終了後の書類提出の期日を守らない場合は評価(単位認定)しない。その他実習を供のまとめと今後の課題を明確にするためレポート提出を1回譲す。なお、詳細(レポート課題・提出方法等)は授集時間に指示する。保育業層 を選択した場合は、必ず保育業指揮を選択すること。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員 (大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目
保育士養成課程

部価七注, 其淮

計画方法:奉午									
評価前提条件									
単位認定に必要となる最低	単位認定に必要となる最低出席回数は11回以上。								
評価方法									
定期試験	定期試験 レポート 課題・作品 中間テスト 平常点 その他								
0 %	2 0 %	2 0 %	0 %	6 0 %	0 %				

ルーブリック	ループリック							
			評価基準					
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない			
実習に関する知識・技能(何を知っているか、何ができるか)	保育実習の総合的な学びの 意義について深く理解でき た。	保育実習の総合的な学びの 意義についておおむね理解 できた。	保育実習の総合的な学びの 意義について理解できた。		保育実習の総合的な学びの 意義について理解すること ができなかった。			
保育実習に向けた思考力・ 判断力・表現力等(知って りること、できることをど う使うか)	実践力について十分に考察	保育実習の総合的な学びと 実践力についておおむね考 察できた。	保育実習の総合的な学びと 実践力について考察できた。	保育実習の総合的な学びと 実践力について多少考察で きた。	保育実習の総合的な学びと 実践力について考察することができなかった。			
主体的に取り組む態度(ど のように関わるか)	保育実習の意義や実践力を 身につけることの重要性を わかりやすく説明できた。	身につけることの重要性を	保育実習の意義や実践力を 身につけることの重要性を 説明できた。	保育実習の意義や実践力を 身につけることの重要性を 多少説明できた。	保育実習の意義や実践力を 身につけることの重要性を 説明することができなかっ た。			
パフォーマンス(知識、ス キルを使いこなす活用、応 用)	自己を向上させるために学 修した内容をまとめ、プレ ゼンテーションによって具 体的に報告できた。	自己を向上させるために学 修した内容をまとめ、プレ ゼンテーションによってお おむね報告できた。	自己を向上させるために学 修した内容をまとめ、プレ ゼンテーションによって報 告できた。	自己を向上させるために学 修した内容をまとめ、プレ ゼンテーションによって多 少報告できた。	自己を向上させるために学 修した内容をまとめ、プレ ゼンテーション報告するこ とができなかった。			

The state of the s									
科目分類区分		専門科目		対象学	料・配当	社会福祉学科・4年			
開講時期		通年		授業	形態	演習	必修・選択	選択	
科目名称	保育	宝習指導		(科目	ナンバリン	ング: CHS123097)	
授業担当者(所 属・職名)	吉江	幸子(社会福祉	业学科	・准教	対授)	研究室等所在	1号館 :	2 階	
単位数	1	(単位認定責任者:	吉江	草子 幸子)	CAP制			
実務経験のある 教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合 経験と授業関連	の実務	保育現場に	おける実習指	背導の経験を活かし、実 間	習の事前事後指導を行う.	•	

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書											
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考						
1	『実習の手引き』					学内テキスト						
2	『新訂しりたいときにすぐわかる幼稚園・保育所 ・児童福祉施設等実習ガイド。	石橋裕子・林幸範	同文書院	2020	9784810314755							
3												
4												
5												

授業計	<u> </u>		
	各授業回における学習[内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間
凹	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 オリエンテーション 授業改善アンケート結果反映の説明	指定した教科書を事前に読むこと(45分)。	1回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
2	事前指導 保育実習 のふりかえり	保育実習 の記録を読み返しておく(45分)。	2回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
3	事前指導 保育実習 の目的・内容・方法	実習の手引きについて事前学習しておく(45分)。	3回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
4	事前指導 実習課題の設定	保育実習 の課題を省察する(45分)。	授業終了時に示す課題を作成する(45分)。
5	事前指導 指導計画の立案について	2年次履修「保育課程論」を読み返しておく(45分)。	5回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
6	保育実習による総合的な学び(1)子どもの最善の 利益を考慮した保育の具体的理解	教科書の「実習の準備」を事前学習しておく(45分)。	6回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
7	保育実習による総合的な学び(2)子どもの保育と 保護者支援	教科書の「保育実技」を事前学習しておく(45分)。	7回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
8	保育実践力の育成(1)子どもの状態に応じた適切なかかわり	教科書の「保育実技」を事前学習しておく(45分)。	8回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
9	保育実践力の育成(2)保育の表現技術を生かした 保育実践	教科書の「保育実技」を事前学習する(45分)。	9回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
10	保育実践力の育成(3)未満児・以上児における指 導案の作成と事前準備	乳児及び未満児対応について事前学習する(45分)。	1 0回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
11	計画と観察,記録,自己評価(1)保育の全体計画 に基づく具体的な計画と実践	教科書の「記録」を事前学習しておく(45分)。	1 1回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
12	計画と観察,記録,自己評価(2)保育の観察,記録,自己評価に基づく保育の改善	実習記録用紙書式をよく確認しておく(45分)。	1 2回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
13	事後指導 保育圏における保育士の職務	実習のまとめ・報告準備を進める(45分)。	13回目の授業で理解した点を整理する(45分)。
14	事後指導 実習報告会の実施	報告会の準備、練習をしておく(45分)。	報告会の自己評価をする(45分)。
15	事後指導 実習の総括と今後への課題	実習で学んだ事、課題を整理しておく(45分)。	授業の目的の達成度を自己評価する(45分)。
16	提出レポート、課題の解説とフィードバック 授業改善アンケートの実施	実習内容を振り返り課題抽出(45分)。	課題の解説に基づき復習し整理する(45分)。

参	参考文献・資料等									
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1	『保育所保育指針 < 平成29年告示 > 』	厚生労働省	フレーベル館	2017	9784577814239					
2										
3										
4										
5										

授業計	画		
		内容及び授業外学修として準備学習・	
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

科目分類区分		専門科目	対象学科・配当	対象学科・配当 社会福祉学科・		
開講時期		通年	授業形態	受業形態 演習		選択
科目名称	伢	除育実習指導	(科目ナンバリング: CHS123098			
授業担当者(所 属・職名)	湯浅	頼佳(社会福祉学科	・専任講師)	研究室等所在	1号館	3階
単位数	1	(単位認定責任者: 湯)	浅 頼佳)	CAP制		
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容				
オフィスアワー			研究室前の掲示ボー	- ド等を参照		

概要

履修目標

- 1 保育素習の蓄養と目的を理解し、保育について総合的に学ぶ。 2 実譜や既認の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。 3 保育の観景、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学ぶ。 4 保育立の専門性と観楽機能とついて理解する。 5 実習の単独指事を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

授業の位置づけ

社会福祉学科の DP(2)、(5)に対応する。

到達目標

保育実習による総合的な学び,保育実践力の育成,計画と観察,記録,自己評価,保育士の専門性と職業倫理について理解する。

授業全体の内容と概要

保育実習 (施設実習)の履修者に対して指導を行う。保育実習による総合的な学び,保育実践力の育成,計画と観察,記録,自己評価,保育士の専門性と職業倫理について学修する。

授業の方法

授業はパワーポイントや視聴覚教材(DVD・ブルーレイ)も取り入れながら演習形式で行う。実習の事前指導及び事後指導も含まれるので必要に応じでグループワークやグループ学習も実施し、その都度発生した疑問・質問などにはフィードパックとして解説を行い、実習終了後は報告会を実施する。

アクティブラーニングの実施方法

0	プレゼンテーション	0	グループワーク	フィールドワーク	PBL
	模擬授業	0	ロールプレイ	調査学習	反転授業
	ディスカッション	0	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

・各授業回数における学習内容」に記載の「準備学習」「事後学習」を参照する事。10回以上の出席がなければ、成績評価の対象としない。正当な理由なき遅刻 原加は実習をとりやめにする。保育者の資質に欠ける者は、実習をとりやめとする、実習終了後の書類提出の期白を守らない場合は評価(単位認定)しない。保 育業資素機能、原稿用紙(400字)3枚程度のレポート提出を「回課す。その他実習全体のまとめと今後の課題を明確にするため原稿用紙(400字)約4枚 程度のレポート提出を「回課す。なお,詳細(レポート課題・提出方法等)は授薬時間に指示する。「保育実習指導」」は、保育士資格を取得するための必修科目 である。(保育実習指導」が、保育実習指導」のいずれかを必ず選択すること。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目
保育士養成課程

評価方法・基準 評価前提条件

0 %

20%

CT HOAD FA	1 40 1	AMBE /FD		 7.00
評価方法				
授業回数の3分の2(1	1回)以上の出席がなければ	(,成績評価の対象としない。	,	
HI IMIJJAC 1711				

0 %

10%

60%

10%

	_	_									
ルーブリック											
		評価基準									
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない						
知識・技能(何を知っているか , 何ができるか)	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について十分に理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用につい て概ねに理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用につい て理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用について多少は理解できた。	児童福祉施設等における保育の専門知識の活用につい て理解できなかった。						
思考力・判断力・表現力等 (知っていること,できる ことをどう使うか)	児童福祉施設等における保育技術の展開について十分 に考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について概ね 考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について多少 は考察できた。	児童福祉施設等における保育技術の展開について考察 できなかった。						
主体的に取り組む態度(どのように関わるか)			施設実習による総合的な学 びを,記録で表すことがで きた。								
パフォーマンス(知識, スキルを使いこなす活用, 応用)	施設実習ににおいて自己評価と課題の明確化に積極的に取り組むことができた。	施設実習ににおいて自己評価と課題の明確化に概ね取り組むことができた。	施設実習ににおいて自己評価と課題の明確化取り組むことができた。	施設実習ににおいて自己評価と課題の明確化に多少は取り組むことができた。	施設実習ににおいて自己評価と課題の明確化に積極的には積極的にはいませい。 である。						

坐中								
科目分類区分		専門科目		対象学科・配当	社会福祉学科・4年			
開講時期		通年		授業形態	演習	必修・選択	選択	
科目名称	保育	實習指導		(科目ナンバリ	ング: CHS123098)	
授業担当者(所 属・職名)	湯浅 賴	賃佳(社会福祉	学科	・専任講師)	研究室等所在	1 号館	3階	
単位数	1	(単位認定責任者:	湯浅	頼佳)	CAP制			
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場合 経験と授業関連内						

教科書・参考文献・資料等

教和	枚科書										
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考					
1	『新訂 知りたいときにすぐわかる幼稚園・保育 所・児童福祉施設等実習ガイド 第二版』	石橋裕子・林幸範	同文書院	2018	9784810314755						
2											
3											
4											
5											

1又未口1			
授業計			
	各授業回における学習[内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間
ഥ	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明 授業改善アンケート結果反映の説明	「保育実習 」の報告書や日誌などを再読する (45分)	シラパスの確認をする。「保育実習 」での課題を 明確にする(45分)
2	事前指導 保育実習 のふりかえり	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
3	事前指導 保育実習 の目的・内容・方法	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
4	事前指導 実習課題の設定	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
5	事前指導 援助計画の立案について	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまと める(45分)
6	保育実習による総合的な学び(1)子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
7	保育実習による総合的な学び(2)子どもの保育と保護者支援	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまと める(45分)
8	保育実践力の育成(1)子どもの状態に応じた適切なかかわり	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまと める(45分)
9	保育実践力の育成(2)保育の表現技術を生かした保 育実践	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
10	計画と観察,記録,自己評価(1)保育の全体計画に 基づく具体的な計画と実践	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
11	計画と観察,記録,自己評価(2)保育の観察,記録,自己評価に基づく保育の改善	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め授業ノートを作成しまとめる(45分)
12	事後指導 児童福祉施設等における保育士の職務	前回の授業で出された課題について予習する(45分)	課題についての復習を含め報告会の資料を作成する (45分)
13	事後指導 実習報告会の実施	報告会のシミュレーションをしておく(45分)	報告会について考察する (45分)
14	事後指導 実習評価と自己覚知	自己評価表を作成する (45分)	実習評価と自己評価について考察する(45分)
15	事後指導 実習の総括	「保育実習」のまとめを行う(45分)	「保育実習」について考察する(45分)
16	保育実習のまとめとふりかえり 授業改善アンケートの実施	「保育実習・」をまとめる(45分)	「保育実習 ・ 」についてふりかえりをする (45分)
	·		

参	参考文献・資料等									
No		著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1	『実習の手引き』									
2	『学内テキスト』									
3										
4										
5										

授業計画									
回		内容及び授業外学修として準備学習・							
П	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)						
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当		全学科・3年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習(事前・事後	(科目ナンバリン	ング:EDU143165 , DU443109 , E	EDU243113 , EDU34 EDU543118	3107 , E)
授業担当者(所 属・職名)	荒木 広式(社会福祉学科 、渡部 斎(社会福祉	・特任教授) 学科・教	研究室等所在	2 号館 1	7 階
単位数	1 (単位認定責任者: 活	度部 斎)	CAP制	×	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実務 経験と授業関連内容	i			
オフィスアワー		各教員の研究室前の掲示	rボード等を参照		

概要

履修目標

(事前指導)教育実習生として必要な資質を理解し、教師として基礎的な知識や技能の修得することができる。(事後指導)教育実習の終了後、自らの教育実習を 反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだす。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(4)(5)に対応する。 経営学科のDP(4)に対応する。 デザイン学科のDP(4)に対応する。 建築学科のDP(4)に対応する。

到達目標

「教育実習」の目的・意義を理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を作成することができる。

授業全体の内容と概要

「教育実習」の目的・意義を具体的に理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を模擬授業をとおして作成することができる。また、「教育実習」の自覚と責任を高め、社会人・教師としての知識・技能・態度習情を意欲的に培うことができる。 「SDG4、製の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。テキスト及び配布資料等を中心に講義を行う。また、後期には実践的な模擬授業が始まる ので、教材研究・ブリント作成・板書計画など関連する項目において、意欲的な態度で臨むこと。なお、模擬授業終了後にはコメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法

, , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,									
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL			
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業			
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)			

履修上の注意事項

出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後受講できなくなる場合があるので、真剣な取り組みを要する。

修学サポート(合理的配慮)
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。
資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件

・無断欠席は、大きく減点される。学生の立場ではなく、教員としての立場が求められる。 ・教育実習(事前・事後指導)の単位認定は、4年の後期に行われる。

評価方法

п і ш/Ј/Д						
定期試験	レポート	レポート 課題・作品		平常点	その他	
0 %	2 0 %	3 0 %	0 %	2 0 %	3 0 %	

ルーブリック										
			評価基準							
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない					
知識・理解	・レポート課題において、 9割以上の得点を取ること ができた。	・レポート課題において、 8割以上の得点を取ること ができた。	・レポート課題において、 7割以上の得点を取ること ができた。	・レポート課題において、 6割以上の得点を取ること ができた。	・レポート課題において、 6割以上の得点を取ること ができなかった。					
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現することができた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究がし っかりとできていた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究ができていた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究がや やできていた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究ができていなかった。					
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現することができた。	、より詳細な教材研究がな	実践的な模擬授業において 、詳細な教材研究がなされ 、授業として成立していた 。	、教材研究がなされ、授業	実践的な模擬授業において、 教材研究がなされず、授 業として成立していなかっ た。					

科目分類区分		自由科目		対象学科	配当		全学科・3年	
開講時期		通年		授業形	態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実	習(事前・	事後	(科目ナ	ンバリン	ング:EDU143165 , DU443109 , E	EDU243113 , EDU34 DU543118	⁴³¹⁰⁷ , E)
授業担当者(所 属・職名)		式(社会福語 斎(社	祉学科 会福祉:	・特任教 学科・教	授)	研究室等所在	2 号館	7階
単位数	1	(単位認定責任者:	渡	部斎)	CAP制	×	
実務経験のある 教員の授業科目		左記に該当する場 経験と授業関	易合の実務 連内容					

教科書・参考文献・資料等

教科	效科書									
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1	『新編 教育実習の常識』	教育実習を考える会編	蒼丘書林	2000	9784915442117					
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎猛編	小学館	2015	9784091050151					
3	『教育実習の手引(第7版)』	北海道私立大学教職課程研究連 絡協議会編	学術図書出版社	2019	9784780607772					
4										
5										

授業計画								
	各授業回における学習	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間					
쁘	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)					
1	前期オリエンテーション(シラパスの説明を含む) 、教育実習の目的と意義 前年度の授業改善アンケート結果反映の説明	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)					
2	挨拶の実際1、教育実習の準備と心得	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
3	挨拶の実際2、実習校での禁止事項等	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
4	自己紹介の実際1、受け入れ学校の声	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(4 5 分)						
5	自己紹介の実際2、	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
6	自己紹介の実際3、	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
7	板書計画	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(4 5 分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
8	学級指導の実際 1	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(4 5 分)						
9	学級指導の実際 2	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
10	学級指導の実際 3	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(4 5 分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
11	教育実習における授業の実際(VTRから学ぶ)	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
12	学習指導案の作成 (基本)	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
13	教科別模擬授業(導入の実際) 1	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
14	教科別模擬授業(導入の実際) 2	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)						
15	教科別模擬授業(導入の実際) 3	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
16	まとめ、課題(レポート・学習指導案など)の解説	まとめの準備をしておくこと。(45分)	まとめの整理をしておくこと。(45分)					

参	参考文献・資料等									
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考				
1	『中学校学習指導要領解説 各教科編(最新版) 』									
2	『高等学校学習指導要領解説 各教科編(最新版)』									
3										
4										
5										

授業計	画		
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間
Н	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習 (所要時間)
17	後期オリエンテーション (シラバスの説明を含む) 、模擬授業の日程について	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
18	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
19	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
20	模擬授業の見学 (4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
21	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
22	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
23	学習指導案の作成	教材研究の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
24	プリント・板書計画の作成	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)	
25	ブリント・板書計画の作成	事前にテキストの範囲を読んでおくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
26	模擬授業の見学 (3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
27	模擬授業の見学 (3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
28	模擬授業の見学 (3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
29	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
30	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
31	教育実習体験発表(4年)	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)
32	まとめ、課題(レポート・学習指導案など)の解説 授業改善アンケートの実施	まとめの準備をしておくこと。(45分)	まとめの整理をしておくこと。(45分)

科目分類区分	自由科目	対象学科・配当		全学科・4年	
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修
科目名称	教育実習(事前・事役	(科目ナンバリン	ング:EDU143165 , DU443109 , E	EDU243113 , EDU34 EDU543118	43107 , E)
授業担当者(所 属・職名)	荒木 広式(社会福祉学科 、渡部 斎(社会福祉	斗・特任教授) 止学科・教	研究室等所在	2 号館	7階
単位数	1 (単位認定責任者:	渡部 斎)	CAP制	×	
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実 経験と授業関連内容	務			
オフィスアワー		各教員研究室前の掲示	ボード等を参照		

概要

履修目標

(事前指導)教育実習生として必要な資質を理解し、教師として基礎的な知識や技能の修得することができる。 (事後指導)教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだす。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP(4)(5)に対応する。 経営学科のDP(4)に対応する。 デザイン学科のDP(4)に対応する。 建築学科のDP(4)に対応する。

到達目標

教育実習の終了後、自らの教育実習を反省し、課題等を確認し、教師として今後の展望を見いだすことができる。

授業全体の内容と概要

「教育実習」の目的・意義を具体的に理解し、生徒の実態や教科の目標・特性に応じた学習指導案を模擬授業をとおして作成することができる。また、「教育実習」の自覚と責任を高め、社会人・教師としての知識・技能・態度習情を意欲的に培うことができる。 「SDG4、製の高い教育をみんなに」の関連科目。

授業の方法

授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。前期は実習前なので実践的な模擬授業が中心である。後期は3年の模擬授業を見学し、教育実習の反省点や譲題を見つけると共に3年の教育指導も行う。なお、模擬授業終了後にはコメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法

, , ,	777177 — 770XIIB/III						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

出席状況、受講態度の点で適格性を欠いていると判断された学生は、以後受講できなくなる場合があるので、真剣な取り組みを要する。

修学サポート(合理的配慮)				
事前相談を受け、本学の基本方針及び規程等に基づき、学生・教員(大学)が同意のもと修学サポートする。				
資格指定科目				
教職課程(全教科)必修科目				

評価方法・基準

評価前提条件

・無断欠席は、大きく減点される。学生の立場ではなく、教員としての立場が求められる。 ・教育実習(事前・事後指導)の単位認定は、4年の後期に行われる。

評価方法

	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	
	0 %	2 0 %	3 0 %	0 %	2 0 %	3 0 %	

ルーブリック					
			評価基準		
評価項目	履修項目を超えたレベルを 達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にある レベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レボート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、 6割以上の得点を取ること ができなかった。
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベで実現できた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究がし っかりとできていた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究がで きていた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究がや やできていた。	教科書読解・資料作成・板 書計画などの教材研究がで きていなかった。
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	上口詳細か教材研究がか	実践的な模擬授業において 、詳細な教材研究がなされ 、授業として成立していた 。	教材研究がかされ 授業	実践的な模擬授業において 教材研究がなされず、授 業として成立していなかっ た。

Extrins TX						
科目分類区分	自由科目	対象学科・配当		全学科・4年		
開講時期	通年	授業形態	演習	必修・選択	課程必修	
科目名称	教育実習(事前・事後	くくく	ング:EDU143165 , DU443109 , E	EDU243113 , EDU34 DU543118	⁴³¹⁰⁷ , E)	
授業担当者(所 属・職名)	荒木 広式(社会福祉学科 、渡部 斎(社会福祉	↓・特任教授) 上学科・教	研究室等所在	2 号館	7階	
単位数	1 (単位認定責任者:	渡部 斎)	CAP制	×		
実務経験のある 教員の授業科目	左記に該当する場合の実 経験と授業関連内容	务				

教科書・参考文献・資料等

教和	教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1	『新編 教育実習の常識』	教育実習を考える会編	蒼丘書林	2000	9784915442117		
2	『教育実習完璧ガイド』	宮崎猛編	小学館	2015	9784091050151		
3	『教育実習の手引(第7版)』	北海道私立大学教職課程研究連 絡協議会編	学術図書出版社	2019	9784780607772		
4							
5							

授業計画						
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間			
쁘	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)			
1	前期オリエンテーション(シラバスの説明を含む) 、模擬授業の日程など 前年度の授業アンケート結果反映の説明	事前にシラバスを読んでいること。 (45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)			
2	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
3	模擬授業の見学 (4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
4	模擬授業の見学 (4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
5	模擬授業の見学 (4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
6	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
7	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
8	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
9	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
10	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
11	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
12	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
13	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
14	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
15	模擬授業の見学(4年)	模擬授業の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)			
16	まとめ、課題(レポート・学習指導案など)の解説	まとめの準備をしておくこと。(45分)	まとめの整理をしておくこと。(45分)			

参	参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	
1	『中学校学習指導要領解説 各教科編(最新版) 』						
2	『高等学校学習指導要領解説 各教科編(最新版)』						
3							
4							
5							

授業計	授業計画							
	各授業回における学習に	内容及び授業外学修として準備学習・	事後学習の内容・時間					
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習(所要時間)					
17	後期オリエンテーション (シラバスの説明を含む) 、模擬授業の日程について	事前にシラバスを読んでいること。 (45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)					
18	模擬授業の見学 (4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
19	模擬授業の見学(4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
20	模擬授業の見学 (4年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
21	模擬授業の実施	模擬授業の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
22	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
23	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
24	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
25	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
26	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
27	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
28	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
29	模擬授業の見学(3年)	模擬授業見学の準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
30	教育実習体験発表(4年)	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
31	教育実習体験発表(4年)	教育実習体験発表を聞く準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					
32	教育実習後の反省と課題について 授業改善アンケートの実施	教育実習後の反省と課題の準備をしておくこと。 (45分)	今回の授業内容をまとめておくこと。(45分)					